

<第90回キャンパス・サミット資料>

平成26年2月25日

社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告
坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープは平成18年3月に産声を上げてから、約8年になります。その間、地域の皆様と学生達が可能な限り自然状態を維持・保全し、自然観察会などで交流し、大いなる自然の営みや恵みを楽しみながら交流の輪を広げています。

2月5日（水）に花と緑のまちづくりを行っている企業（爽環境計画）・環境NPOとの初めてのビオトープ交流会を開催し、3月4日（火）山口大学で「ホタユニの会」との第2回交流・報告会を開催します。

現在、次年度に向けての活動を計画中です。平成26年度のビオトープ活動は4月29日（火）第32回（春）、7月5日（土）第33回（夏）、10月11日（土）第34回（秋）、12月6日（土）第35回（冬）と里山・ビオトープ自然観察会を4回開催します。また、8月の和白東校区の夏祭りにも参加する予定です。

今後も全国のビオトープ活動の模範となるような地域の環境活動拠点として、継続的に活動や環境情報発信を行っていきます。

2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～ 学部ゼミ活動の一環として、平成21年10月から福工大前商店会の活性化プロジェクトに取り組んでいます。平成24年10月から「緑のカーテンづくり」や季節の花を植えたプランターの設置を行っています。今年も「緑のカーテンで省エネや景観などで環境配慮の街づくり」をテーマに企画・実施し、潤いのある空間を創出して、賑わいにある街づくりに貢献していきたいと思えます。緑のカーテンづくりは、2011年の東日本大震災後、打ち水同様に省エネ効果等があり街づくりの中で一般に広がりつつあります。平成24年度は4店舗で開始し、今年度は25店舗にご参加いただいています。下の写真（2月20日撮影）は、「誠文社」、「イチリキ」と「居酒屋力」で昨年11月に植えたスイートピーが今年も徐々に成長し、寄せ植えた綺麗な花も咲いています。卒論アンケート調査では、特に、緑のカーテンやプランターの花々を見たお客さんとの会話が増えたことが挙げられています。

今後も、一層、学生・教職員一同、福工大前商店会の皆様と共に連携して地域の活性化のために頑張っていきますので、どうぞ、宜しくお願いいたします。

